資　料　提　供
令和８年１１月１６日
自然環境課長　西出
外線 076-225-1475　内線 4260

特定外来生物セアカゴケグモの発見について（第３報）

１１月４日（水）～５日（木）にかけて、小松市長崎町地内において特定外来生物のセアカゴケグモのメス２１匹及び卵のうが確認されたことから、小松市職員が９日（月）から現地付近の定期的なパトロールを行い、９日にメス３匹、１１日（水）にメス２２匹と卵のう、１３日（金）にメス１３匹と卵のうが確認されました。

調査を行った計５日間でメス計５９匹が確認され、全て駆除済。

セアカゴケグモのメスは毒を持っていますが、その習性はおとなしく、素手でつかんだり、クモの巣に触れたりしない限り咬まれることはありません。発見した際は触れたりしないよう、ご注意ください。

１　発見について

（１）発表済

発見日時：令和８年１１月４日（水）～５日（木）
発見個体：セアカゴケグモのメス２１匹
発見場所：石川県小松市長崎町　※駆除済み

（２）今回新たに発表

発見日時：令和８年１１月９日（月）～１３日（金）
発見個体：セアカゴケグモのメス３８匹
発見場所：石川県小松市長崎町　※駆除済み

２　セアカゴケグモについて

（１）特徴

・毒を持っているのは、メスのみ
・メスは約 7～10 ㎜で全体に黒色を呈し、背中及び腹部には、赤い模様あり
・オスは約 5㎜ で、茶褐色

（２）生息場所

生息場所は、日当たりの良い場所にある構造物の隙間や側溝に営巣していることが多いとされている。

（３）駆除方法

直接踏みつぶすか、家庭用殺虫剤を直接吹きかけ、駆除。

（４）咬まれた場合の症状

針で刺されたような痛みがある（すぐに痛みを感じないこともある）。その後、咬まれた場所が腫れたり、痛みが全身に広がり、発汗や吐き気を起こすことがある。通常は

数時間から数日で症状は軽減する。ただし、小児や高齢者では、まれに重症化することがある。

※詳しくは、自然環境課のホームページを参照してください。
（http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/gairaishu/seaka.html）
※写真データを提供します。必要な社はお尋ねください。
請求先：自然環境課自然共生グループ　外線 076-225-1544/内線 4263

セアカゴケグモ（原産国：オーストラリア）



＜特　徴＞

・メスは、約７～１０㎜で、全体に黒色を呈し、背中及び腹部には赤い模様あり（毒あり）
→ 上記写真
・オスは、約５㎜で、茶褐色（毒なし）

＜咬まれた場合の症状＞

・針で刺されたような痛みがあり、発汗や吐き気を起こすことがある。
・通常は、数時間から数日で症状は軽減する。
・小児や高齢者は、まれに重症化することがある。
（国内での死亡例なし。）